

【建物の種類別デザイン指針】

[1] 戸建住宅

「落ち着いたある、緑豊かな戸建住宅にしましょう」

建物の位置☒



- 道路側にゆとり空間やうるおい空間を確保しましょう。
 - ・中木程度の樹木が植えられるように壁面位置を後退させましょう。

大きさ・高さ☒



- 周囲になじむ大きさ・高さにしましょう。
 - ・軒の高さが10mを超えないようにしましょう。

形状・材質☒



- 丘のなだらかな地形・景観になじませましょう。
 - ・勾配屋根にするなど、地形になじませましょう。



- ・自然素材や質感のある材料を使いましょう。

色彩☒



- 周囲に調和する落ち着いた色彩を用いましょう。
 - ・屋根面や壁面は落ち着いたある色にしましょう。



- ※景観デザインマニュアル〈色彩〉などを参考にしてください。

敷際☒



- うるおいのある敷際にしましょう。
 - ・単調で威圧的な敷際や大規模なコンクリート擁壁を避け、石積や緑化ブロックなどの自然素材の擁壁や法面などにしましょう。



- ・人の視線を超える高さの擁壁は敷地境界から後退し、植栽で隠しましょう。



- ・生垣を連続させましょう。



- ・壁面後退部分に樹木を植えましょう。



- ・駐車スペースの路面や周囲なども緑化に努めましょう。



- ・アプローチや玄関前などに花や緑を飾りましょう。



- ・勾配のある地形などで地下駐車場を設ける場合は、駐車場の入り口部を敷地☒ ☒境界から後退させましょう。



- 安らぎのあるまちづくりに配慮しましょう。



- ・生垣などの維持管理を適切に行い、美観や安全性を保ちましょう。



- ・玄関灯や敷際の照明設置により、夜間景観の演出や安らぎ、安心感を高めましょう。

付帯設備☒

(駐車スペースの屋根、門柱、物置など)



- 付帯する設備類の通りからの見え方に配慮しましょう。



- ・配置を工夫しましょう。

- ・建物や敷際と一体的にデザインしましょう。

- ・生垣・植栽などで隠しましょう。

- ・カイツカイブキなどのボリュームある生垣がうるおいをもたらしています。

千里丘下



- ・石積の擁壁を後退し、植栽を前面に配置しています。

千里丘西



- ・ポケットパークと駐車スペースをまとめて配置し、ゆとりを創出しています。

山田西



- ・半地下の駐車スペースの入り口部をセットバックし、威圧感を軽減しています。

千里山西